

# 繰り返し学習(ベース学習)による基礎的基本的内容の定着

【松伏町教育委員会】

1 学校、学年、教科 中学校、全学年、5教科

2 ねらい

5教科(国語、社会、数学、理科、英語)における基礎的基本的な内容を身につける。

3 取組内容

「思考力・判断力・表現力等」の育成に必要な基礎的基本的な内容について確実な定着が必要である。本校では、5教科の基礎的基本的な内容の定着を図るために帰りの会前の10分間を活用し、全学年で繰り返し学習を実施している。(ベース学習)毎日同じ課題を原則2週間自習形式で繰り返し学習し身につけている。5教科で順番に行っている。

学習内容はその時点での授業に必要な基礎的基本的な内容や、3年間を見通して身につけておくべき内容である。

また繰り返し学習の成果の確認として、学習途中でプレテストを行い、成果の確認をしその後の繰り返し学習に活かしている。最後に合格基準点(ほとんどが100点満点中80点)を目標とし、確認テストを行っている。

合格基準点に達しなかった生徒は、放課後等を利用し合格基準点に達するまで再テストを行ったり、補習学習を行う。

合格生徒の数などを参考に習得状況を把握し、次回の実践に活かしている。

## 計画例 ベース学習計画(教師用)

### 3学年ベース学習予定表

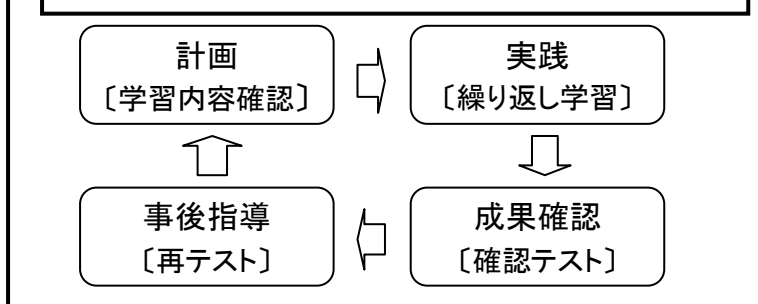
2011/11月22日版  
ベース学習担当

11月			12月		
1	火	社会	1	木	×
2	水	×	2	金	×
3	木		3	土	
4	金	×	4	日	
5	土		5	月	数学
6	日		6	火	数学
7	月	社会	7	水	数学
8	火	×	8	木	数学
9	水	×	9	金	数学
10	木	社会	10	土	
11	金	×	11	日	
12	土		12	月	数学
13	日		13	火	数学
14	月		14	水	×
15	火	×	15	木	数学
16	水	社会	16	金	数学テスト
17	木	社会	17	土	
18	金	社会テスト	18	日	
19	土		19	月	×
20	日		20	火	×
21	月	×	21	水	×
22	火	×	22	木	×
23	水		23	金	
24	木	数学	24	土	
25	金	数学	25	日	
26	土		26	月	
27	日		27	火	
28	月	数学	28	水	
29	火	数学	29	木	
30	水		30	金	
			31	土	

順番は、国語→社会→数学→理科→英語の順番です。

よろしくお願ひします。

## □繰り返し学習(ベース学習)の検証改善サイクル□



この計画をみて教科担当教師が計画、準備する。

## 実践例1 学習到達度(級)を生徒に示した実践例(目的意識の高揚)

### 1年 英語ベース学習(2学期) 取り組み用紙

1年 組 番 氏名

◎学習の進め方

1 自分の目標のグレードを選ぶ。

各生徒が自分の能力に合わせて目標を設定できる。かつ、次の級に進むことで学習意欲がわく。

級	出題範囲	出題数	形式	合格点
5級B	1~10	10	全問 英語→日本語(ただし出題順番を覚える)	10
5級A	1~10	10	全問 日本語→英語	10
4級B	1~20	20	10問 日本語→英語、10問 英語→日本語	16
4級A	1~20	20	全問 日本語→英語	16
3級	1~30	30	全問 日本語→英語	24
2級	1~40	40	全問 日本語→英語	32
1級	1~50	50	全問 日本語→英語	40

実践例2 事前に学習の進め方や内容等を生徒に示した実践例(事前指導の例)

### 第2学年 ベース学習 社会

課題提供 鈴木 期間 6月20日～6月28日  
 学習課題 六大陸三大洋と世界の国々 まとめテスト 6月29日(水)  
 学習目標 六大陸三大洋を完全習得＆たくさんの国名を覚えよう。

**10 分間の学習の進め方**  
 ベース学習10分間の時間配分  
 2:55～3:00 (5分間) 自主学習ノートに練習  
 (3:55～4:00)  
 3:00～3:03 (3分間) 小テスト  
 (4:00～4:03)  
 3:03～3:05 (2分間) 解答・間違え直し(3回ずつ裏に書く)  
 (4:03～4:05)

※解答は隣同士で(3人の場合も)行う。  
 ※小テストは後ろから集め、学習係がチェックし、担任に提出する。

**各日の学習内容の確認**  
 【計画】  
 6月20日(月) 六大陸三大洋(基本編)  
 6月21日(火) 六大陸三大洋(応用編)  
 6月22日(水) 世界の地域区分(初)  
 6月23日(木) アジア州の国々①  
 6月24日(金) アジア州の国々②  
 ※復習をします。27日(月)提出。  
 6月27日(月) ヨーロッパ・アフリカ州の国々  
 6月28日(火) 南北アメリカ州・オセアニア州の国々  
 6月29日(水) まとめテスト

6月22日(水) 世界の地域区分(初)  
 【解答】①ヨーロッパ州 ②アフリカ州 ③アジア州 ④オセアニア州 ⑤北アメリカ州  
 ⑥南アメリカ州 A. ユーラシア大陸 B. アフリカ大陸 C. 北アメリカ大陸  
 D. 南アメリカ大陸 E. オーストラリア大陸

6月23日(木) (初) ①-⑤の国名と首都名を答えなさい。  
 【解答】  
 ①大韓民国・ソウル  
 ②朝鮮民主主義人民共和国・平壤  
 ③中華人民共和國・北京  
 ④フィリピン・マニラ  
 ⑤インドネシア・ジャカルタ

実践例3 到達度を配慮した確認テスト(級を設定)

1学年ベース学習(英語)2学期			名前	
テスト用紙				
1	数値する	26	漢字	
2	数える	27	ボラー	
3	行く、	28	野球	30
4	来る	29	動物	
5	集める、学級う	30	生徒	[3級]
6	得る、手に入れ	31	音楽	
7	持っている、食	32	友達	
8	これは、この	33	一員、メンバー	
9			クラスメイト	
10			インターネット	
11			習題	
12			関心した、通つ	
13			アメリカ	40
14			日本の	
15			中国の	[2級]
16			たぐひの	
17			今日は	
18	どのように	43	曜日	
19	への返り	44	日曜日	
20	へについて	45	月曜日	
21	食べ物	46	火曜日	
22	少年	47	水曜日	
23	少女	48	木曜日	
24	学校	49	金曜日	50
25	クラブ	50	土曜日	[1級]

学習した範囲で級を設定。  
 回を重ねるごとに、挑戦できる級を変えられことで、学習意欲を喚起する。

[4級A] (20) [3級] (30) [2級] (40) [1級] (50)

4 成果と課題

この基礎的基本的内容の繰り返し学習の確認テストの合格者の平均は、全体の75%である。合格者には、合格証を毎回手渡し学習意欲が高まっている。また不合格者についても合格するまで再テストや別課題を与え補習学習をするので、すべての生徒が基礎的基本的な内容を習得するシステムができている。

課題は、習得した基礎的基本的な内容の活用である。これは授業での指導の工夫改善が必要である。また、学年ごとに積み重ねた計画や学習内容の資料を毎年使用できるようにすることである。これは各学年の各教科担当の教師が単独に計画・実施しているものを教科部会によるベース学習にしなければならない。教科部会の研修のひとつとし、本校としてのベース学習の確立を図っていきたい。